

我が県土

支え育む

希望郷

美しい
県土づくりNEWS

2022年
11月

《国土強靱化 特集号》



岩手県
Iwate Prefecture

おでんせ、いわて!

岩手県 県土整備部 手づくり広報誌第219号
令和4年11月15日発行
編集 県土整備企画室

【岩手県ホームページ】

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/news/1056043/index.html>

(トップページ > 県土づくり > 県土整備一般 > 県土づくりNEWS > 美しい県土づくりニュース 令和4年度)



5か年加速化対策の執行状況と効果 地域のつくり手・守り手である県内建設企業の活躍

令和4年11月
岩手県県土整備部



防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策

◆ 令和2年12月11日 閣議決定

○ 対策の3本柱

1. 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
2. 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策の加速
3. 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

○ 事業規模：概ね15兆円

○ 対策期間：令和3年度を初年度とする5年間

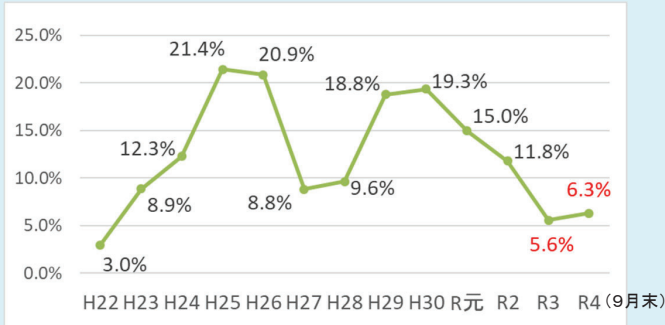
◆ 予算配分の状況

【事業費ベース】

	事業規模の 目途	令和2年度 第3次補正	令和3年度 補正	累計 〔進捗(%)〕
全国 ※1	概ね15兆円	約4.2兆円	約2.6兆円	約6.8兆円 〔45.3%〕
岩手県 ※2、3	-	約340億円	約215億円	約555億円

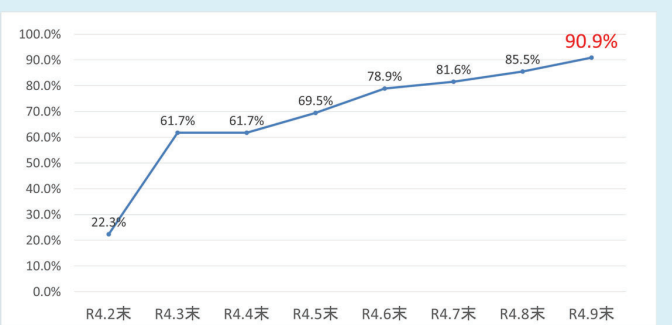
※1 全国の値は内閣官房国土強靱化室公表資料
 ※2 岩手県の値は東北地方整備局公表資料
 ※3 岩手県の値は市町村事業を含む国土交通省所管事業

◆ 県営建設工事における入札不調の発生率の推移



※ 随意契約を除く件数

◆ 5か年加速化対策を含む令和3年度補正予算の契約状況



※ 市町村事業を含む国土交通省所管事業

- 県営建設工事における入札不調の発生率は、令和3年度以降、概ね6%程度で推移し震災前と同水準。
- 令和3年度補正予算の契約率は9月末時点で9割を超えている。
- 早期執行により、防災・減災、国土強靱化の取組を着実に推進。

5か年加速化対策による効果事例

1. 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

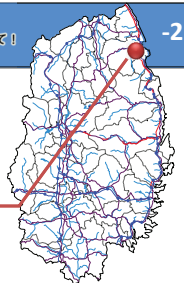
(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策(ハード対策)

【事業名】 防災・安全交付金(広域河川改修事業)

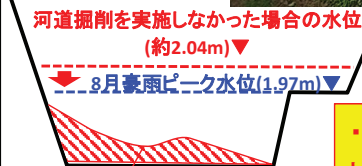
【内容】 河道掘削

【箇所名】 二級河川宇部川(久慈市)

二級河川宇部川〔岩手県久慈市〕



対策の効果



近傍の下戸鎖観測点で24時間雨量133mm観測(概ね3年に1度の頻度で発生する降雨)

・低水路部における流下断面が20%拡大したことにより約0.1m水位低減

○ 河道掘削により河川の断面を広げ洪水リスクを低減

5か年加速化対策による河道掘削箇所

1. 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策(ソフト対策)

【事業名】 防災・安全交付金(総合流域防災事業)

【内容】 中小河川の洪水浸水想定区域図の作成・区域の指定

【箇所名】 一級河川諸葛川など15河川

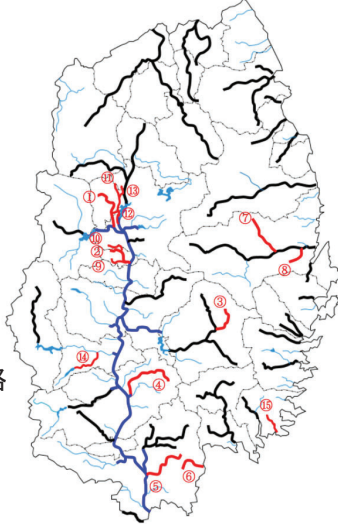
令和3年度指定河川

- ① 諸葛川
- ② 岩崎川
- ③ 小烏瀬川
- ④ 人首川
- ⑤ 千厩川
- ⑥ 大川
- ⑦ 刈屋川
- ⑧ 長沢川
- ⑨ 太田川
- ⑩ 芋沢川
- ⑪ 木賊川
- ⑫ 木賊川放水路
- ⑬ 巢子川
- ⑭ 夏油川
- ⑮ 綾里川

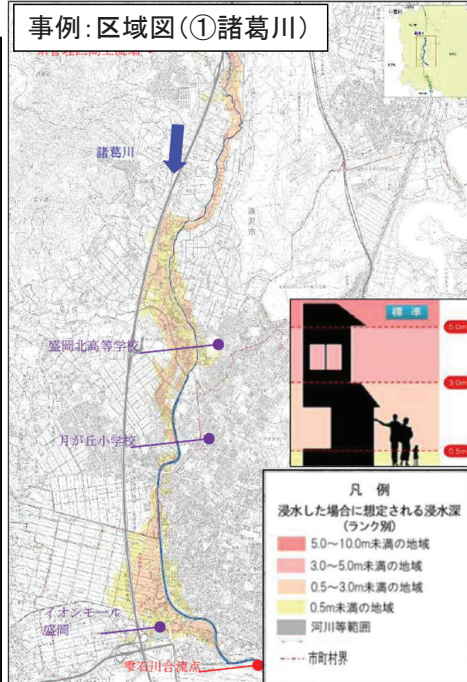
指定済 県管理河川

指定済 国管理河川

令和3年度指定 県管理河川

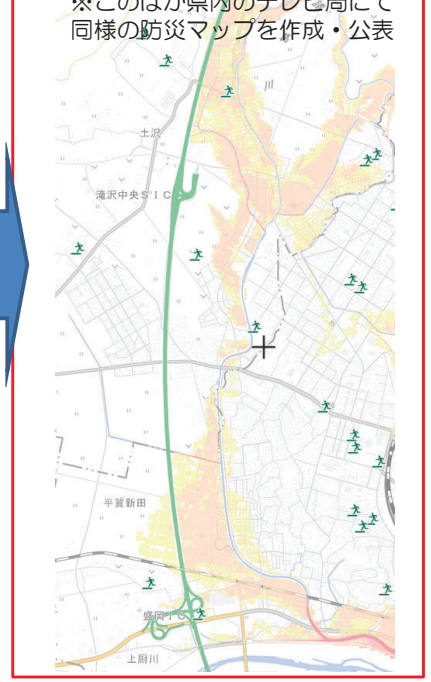


事例: 区域図(①諸葛川)



国土交通省 「重ねるハザードマップ」

国土交通省が運営するポータルサイトで公表
 ※このほか県内のテレビ局にて同様の防災マップを作成・公表



- 生活に身近な中小河川において、想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域の指定を加速化
- 市町村の洪水ハザードマップ策定等、避難行動につながる情報発信に寄与

1. 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

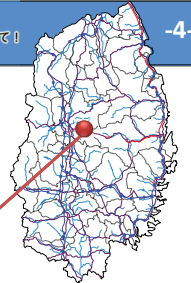
(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

【事業名】 防災・安全交付金(急傾斜地崩壊対策事業)

【内容】 法面对策(地山補強土工)

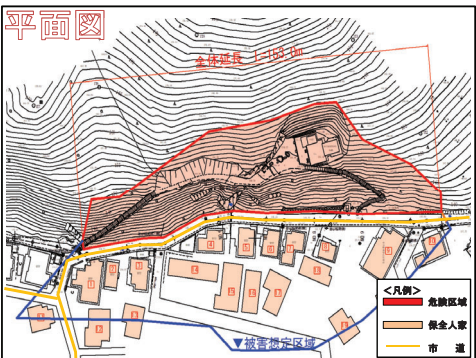
【箇所名】 盛岡市山岸1

山岸1丁目(6)[岩手県盛岡市]



対策前

R1.4.15撮影



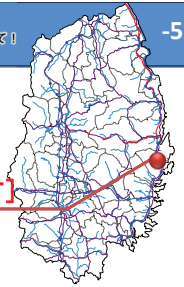
対策の効果

R4.3.30撮影



- 表土の崩壊やすべり破壊の防止対策の実施により、家屋20戸に対し、人家の保全が図られ、令和4年度に発生した8月の豪雨においても被害を防止

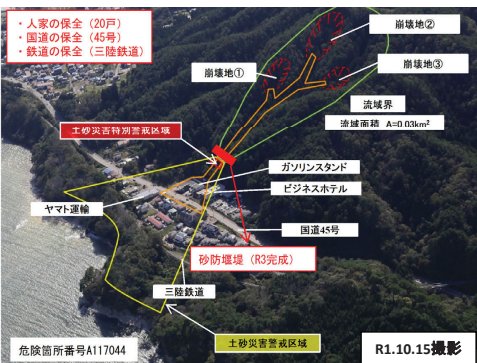
5か年加速化対策による効果事例



1. 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策 (1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

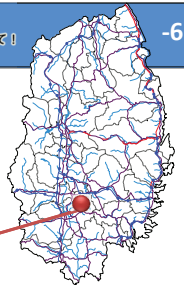
【事業名】 砂防激甚災害対策緊急事業
 【内容】 土石流発生箇所(令和元年東日本台風災害)の砂防堰堤の整備
 【箇所名】 船越の沢(山田町)

船越の沢[岩手県山田町]



○ 今後の豪雨において発生し得る土石流を捕捉する砂防堰堤の整備により、下流の保全対象家屋20戸に対し被害を防止

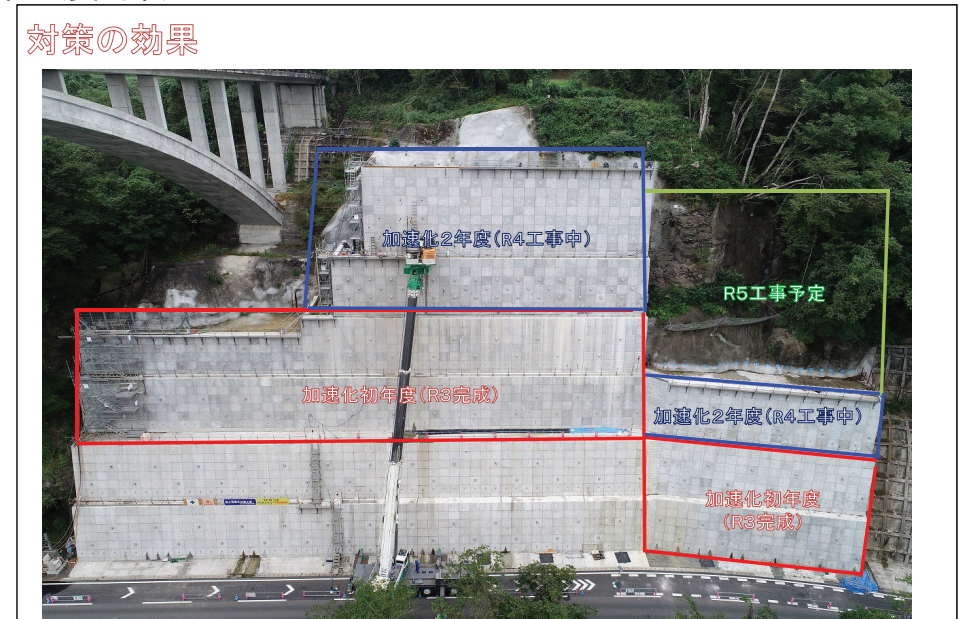
5か年加速化対策による効果事例



1. 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策 (2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

【事業名】 防災・安全交付金
 【内容】 法面对策(法面保護工の整備)
 【箇所名】 主要地方道水沢米里線 館山(奥州市)

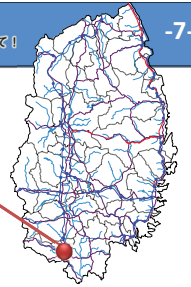
(主)水沢米里線館山[岩手県奥州市]



○ H29に崩落した箇所の防災対策により、緊急輸送道路の安全性・信頼性を確保
 ○ 5か年加速化対策予算の活用により完成が2年前倒し(R7⇒R5)

2. 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策 予防保全への転換による老朽化対策の加速

(主)一関大東線狐禅寺橋[岩手県一関市]



【事業名】道路メンテナンス事業

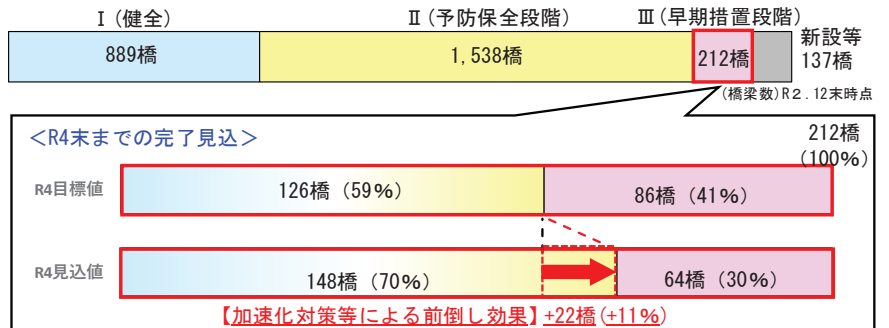
【内容】早期の対応が必要な橋梁の補修(伸縮装置、支承等の補修)

【箇所名】主要地方道一関大東線 狐禅寺橋(一関市)



対策の効果

<法定点検結果(H27-R1)>



- 5年ごとの定期点検で『早期措置段階(判定区分Ⅲ)』と診断された道路橋に対し、5か年加速化対策予算を活用して前倒しで補修を実施
- 予防保全型インフラメンテナンスへの移行に向けた取組※を加速



※ 取組事例
早期に修繕等の措置が必要となっていた橋桁を支える「支承」の補修等を実施。

社会資本の整備や維持管理を担う県内建設業

☆ 地域のづくり手・守り手である県内建設企業の活躍

- 5か年加速化対策等の国土強靱化の取組のほか、災害時の初動対応から復旧、昼夜を問わず実施される除雪作業や鳥インフルエンザの防疫作業等、**県民の安全・安心な暮らしを守る取組**において、**県内の建設企業が活躍**しています。

